

■ 研究課題名

23 麻しんおよび風しんウイルスの分子疫学解析による発生状況の把握に関する疫学的研究

■ 研究の概要

麻しんは国内における排除認定がなされたあとも輸入例の検出が続き検出ウイルスの解析が必要とされるほか、風しんも排除認定にむけ効果的な検査方法を導入するなど正確な疫学情報の把握にむけた取り組みが重要である。また、検出例における症状等の情報収集により、大規模な発生がみられた際の検査方法を含めて体制の再構築を目的とする。

■ 研究期間

平成 30 年度から令和 2 年度まで

■ 研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター 所長 大井 洋

■ 研究責任者の氏名

微生物部ウイルス研究科

森 功次

■ オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。